



おむつ交換(乳児保育Ⅰ)



泥だんご(保育内容「環境」)

授業風景



おみせやさんごっこ(保育原理)



着脱の技術(自立に向けた移動支援/専攻科)

## CONTENTS

2024年度 聖句

「主よ、お話してください。

僕は聞いております。」

(サムエル記上第3章9節)



|                             |     |
|-----------------------------|-----|
| 伊藤忠彦先生 和泉短期大学名誉教授称号授与……………  | 2   |
| 卒業生の活躍、シリーズ研究室紹介……………       | 3   |
| TOPICS……………                 | 4   |
| 2024年度 新任教職員紹介、人事……………      | 5   |
| 2023年度決算書・2024年度予算書 概要…………… | 6-7 |



# 伊藤忠彦先生 和泉短期大学名誉教授称号授与



2024年7月15日、チャペルアワーの礼拝の中で、伊藤忠彦先生へのお名譽教授称号記授与式が執り行われました。

名誉教授称号は、本学の場合、教授として20年以上在職して定年退職をされた、教育・学術上特に功績のあった先生か、学長を2期以上、教授を15年以上務め、本学の管理運営に多大な貢献をされた先生に差し上げるもので、これまで3名の先生方に授与されています。

伊藤忠彦先生は1975年に本学非常勤講師となられ、1980年からは助教、1995年より教授としてお働きくださいました。特に2002年から3期12年にわたって学長を務められ、学長退任後も、本学の内部監査室長として、さらに理事、そして2020年から2022年までは理事長として、長年にわたって本学のために尽くしてくださいました。このたび、理事としての定年を迎え、退任されることを受けて、これまでのお働きに感謝しつつ、名誉教授称号を差し上げるものです。

伊藤先生は牧師養成の神学校である東京神学大学大学院修士課程を卒業後、日本基督教団の牧師となり、ベテル教会(東京都渋谷区)を経て1973年から相模

原教会牧師となりました。教会に牧師として仕えながら、本学においても牧師として、教育と学校の運営を担ってくださったのです。

キリスト教学校には多くの場合、牧師がいます。キリスト教学校は、キリスト教信仰によってしか始まり得なかったルーツを持っており、その精神を受け継いで学校の歩みが進められていくために、キリスト教信仰が教えられ、礼拝がなされ続ける必要があるからです。

和泉短期大学はやはりキリスト教信仰によってしか生まれ得なかった学校です。本学は、戦後、アメリカのクリスチャン・チルドレンズ・ファンドの支援の下、戦争で親を失った子どもたちのために世田谷にバット博士記念ホームが設立され、さらに職員の養成所が作られたことに遡ります。この養成所がやがて和泉短期大学になりました。クリスチャン・チルドレンズ・ファンドの総主事クラーク博士やミルズ博士たちは、戦争で親を失い深く傷ついた子どもたちに、それでもなお主イエス・キリストが共にいてくださることを伝えたいとの思いから支援を始め、子どもたちと一緒に主なる神を見上げ、その神の愛の下で子どもたちが成長して行くことのできる場を作ることが何よりも大切と考えていました。ですから、その業を受け継ぐ保育者を養成するために建てられた本学は、最初からキリスト教学校として建てられたのです。

伊藤先生は長年キリスト教科目を担当され、さらにチャプレンとして、本学が確かに主なる神に向かう学校であり続けることに責任を負ってこられました。そのお働きを通して、私たちは、どんな一人をも神が愛し大切にしておられる人として受け取るようにと促され、私たち自身が持っている小さな愛ではなく、私たちがどこまでも愛してくださる実に深い神の愛に根ざし、それに倣う、真の愛と奉仕の精神を持って保育・福祉に携わる者を養成するように導かれてきたのです。

最後に、私個人と伊藤先生のつながりについて一筆させていただきます。私自身は高校1年生の時に相模原教会に通い始め、1993年のクリスマスに伊藤忠彦先生から洗礼を受けました。その日、5人の受洗者がありました。その中には、本学の武石宣子先生、佐藤守男学長の奥様、私の家内が含まれています。私自身も伊藤先生の任期途中での理事長退任により、予想もしていなかった本学理事長の職務を急遽引き継ぐことになりましたが、あの日伊藤先生から洗礼を受けた者たちの多くが和泉短大に関わっていることに、不思議な神の導きを感じざるを得ません。

私は、信仰者としても牧師としても、伊藤先生に育てていただいた者ですが、本学においても、伊藤先生が本学のルーツを大切にされ、キリスト教信仰によら

理事長 須田 拓

なければ決して生まれ得なかった本学が、その信仰によって歩みをさらに前へと進めて行くようにと力を尽くしてこられたことをしっかりと受け継ぎ、これからも本学が主なる神から託されている務めをこの地で確かに果たし続けて行くことができるように、精一杯を尽くして参りたく思います。

## 伊藤忠彦名誉教授 略歴

|           |                                    |          |                         |
|-----------|------------------------------------|----------|-------------------------|
| 1968年 3月  | 東京神学大学卒業                           | 1988年 5月 | 学校法人桜美林学園評議員            |
| 1970年 3月  | 東京神学大学大学院神学研究科(組織神学専攻)修士課程修了(神学修士) | 1991年 4月 | 社会福祉法人白十字会林間中学校理事       |
| 1975年 3月  | 東京神学大学大学院神学研究科博士課程退学               | 1995年 4月 | 和泉短期大学教授                |
| 1970年 4月  | 日本基督教団ベテル教会伝道師                     | 1998年 4月 | 社会福祉法人悠朋会監事             |
| 1973年 4月  | 日本基督教団相模原教会牧師                      | 1998年 5月 | 学校法人クラーク学園理事            |
| 1975年 10月 | 和泉短期大学非常勤講師(キリスト教教育研究)             | 2002年 4月 | 学校法人クラーク学園 和泉短期大学 第7代学長 |
| 1979年 4月  | 相模白ゆり幼稚園代表役員                       | 2008年 6月 | 学校法人クラーク学園 第7代理事長       |
| 1980年 4月  | 和泉短期大学助教                           | 2011年 4月 | 和泉短期大学チャプレン             |
| 1982年 4月  | 青山学院大学非常勤講師                        | 2011年 4月 | 和泉短期大学特任教授              |
| 1985年 4月  | 和泉福祉専門学校チャプレン・兼任講師                 | 2016年 6月 | 学校法人和泉短期大学理事(重任)        |
| 1985年 6月  | 学校法人クラーク学園チャプレン                    | 2018年 3月 | 学校法人和泉短期大学内部監査室長        |
|           |                                    | 2020年 6月 | 学校法人和泉短期大学 第9代理事長       |
|           |                                    | 2020年 6月 | 学校法人和泉短期大学理事(重任)        |
|           |                                    | 2024年 5月 | 和泉短期大学名誉教授              |

## 卒業生の活躍 (第28回)

社会福祉法人 清賢会 池辺保育園  
主任保育士 加幡 麻子さん  
(二〇〇二年三月卒業生)

和泉短期大学卒業と同時に入職した池辺保育園で23年目を迎えました。昨年末、20年以上保育士として勤めてきた功績を認めていただき、令和5年度神奈川県保育賞を受賞しました。授賞式では保育学生の前で保育の魅力・やりがいについてお話しさせていただきました。会場の学生さんを見ていて、自身の学生時代に思いを馳せました。

授業、ピアノの練習、実習など毎日忙しかった日々も、いずみ祭に向けての合唱の練習や模擬店の準備、学食で過ごしたお昼時間や放課後のサークル活動など同じ夢を持った仲間と過ごした日々も、実習やピアノの課題で悩んでいる私に寄り添い励まし支えてくれた先生方と過ごした日々も全てかけがえない思い出です。

就職してからは日々の保育、数々の書類作成や行事の準備などの忙しい中でも、ハイハイだった子が歩けるようになったり、あーうーと喃語を話していた子が「しえんしえー(せんせい)」と呼んでくれたりと子どもたちの日々の成長にやりがいを感じ、子ども達の笑顔に癒やされました。

10年目から主任保育士になりました。主任になりたての頃は保育の質を高めるといふ責任をひとりで背負



い、後輩指導が厳しくなることもありました。

しかし主任としての経験を積む中で、保育士自身が保育・仕事を楽しむことが何よりも大切なことだと気づきました。保育士が心から発する笑顔は子どもの心に安心感をもたらすし、笑顔を引き出します。その笑顔が園全体を明るくし、子どもも保護者も安心して通える大好きな場所になつてもらえるはずです。

保育士育成の指導者として上に立つのではなく、和泉短大の先生方のようにひとりひとりと寄り添い励まし支えられる存在となり、保育士自身が楽しく保育ができ、子ども達の成長を共に喜び合える環境づくりに努めていこうと思います。

## シリーズ研究室紹介⑥

副学長 ALO 教授 大下 聖治

私の元々の専門は「コーチ学」で、中でも方法的運動系列を中心に研究しておりました。大学院を修了後、コーチ学研究室に助手として勤務した時より私の研究者人生が始まります。私は当時、「いかに効率よく最大の効果を得るか」に関心があり、コーチ学研究室に入室したのもそのようなテーマに関わる科学的理論や最新の知見を基にした研究活動を志したからでした。

ところが、私の恩師である主任教授は、私が研究室に入室した当初、そのような科学的理論には殆ど触れず、最初に渡され熟読するよう勧められたのはデカルト著「方法論序説」でありました。そしてその後はいくつもの「人間学」

分野の書籍を勧められます。当然、不満が高じてきます。コーチ学とは、最新の科学的知見に基づいた指導法であるとの考えを強く持っていたので、実験で得られた生理的データや発表された論文にのみ関心があつたからです。

しかし、私は大きな考え違いをしていたことに気付きました。コーチ学において対象になるのは「機械などではなく、人間である」という当たり前のことが抜け落ちていたのです。そのことを恩師は気付かせてくれました。優れた理論や知見も、それを活かせる方法論(指導法)が対象個々の特性に見合った適切なものでないと絵に描いた餅になります。

私はその後、大学施設を利用した「子どもたちの運動教室」の運営・指導に携わっていくことになります。様々な特性を持った子どもたちが楽しく、安全に且つ効率的に身体操作性を獲得している環境構築に研究テーマも移っていききました。今でもそれは変わっていません。研究室は和泉短期大学の研究棟(2号館)に移りましたが、この研究室から「子どもと運動遊び」に関する情報を発信していきたいと思っています。



## TOPICS

## 社会福祉法人さがみ愛育会奨学金贈呈式

2024年7月1日(月)チャペルアワー終了後、2024年度「社会福祉法人さがみ愛育会スカラシップ事業給付型奨学金」贈呈式が行われ、社会福祉法人さがみ愛育会小林祐子理事長より2年生2名に奨学金(目録)が贈呈されました。



「社会福祉法人さがみ愛育会スカラシップ事業給付型奨学金」は社会福祉法人さがみ愛育会と学校法人和泉短期大学が相互の教育交流・連携を通じ、さがみ愛育会が本学の学生に学修支援を行う奨学金です。このたびは、ご支援いただきまして誠にありがとうございました。

## タウンミーティング「まちかど市長室」開催

2024年6月15日(土)に、和泉短期大学1号館1階 キャリアデザインセンターにおいて、タウンミーティング「まちかど市長室」が開催されました。



今回の「まちかど市長室」は、相模原市の少子化対策、雇用促進対策の参考とするため、本村賢太郎相模原市長が和泉短期大学の学生や市民の方から意見や提案を聴く機会として開催されました。当日は、5名の学生が参加し、「保育学生にとっての理想の保育環境について」というテーマで、活発な意見交換が行われました。

本村市長は、まちかど市長室の後、本学子育て広場「はっぴい」の「親子で音楽」にも参加されました。

## さがまちカレッジ「夏休み子ども体験講座」開催

2024年7月21日(日)さがまちカレッジ「夏休み子ども体験講座～みんなで音楽・カホンを作ろう♪たいたいて遊ぼう♪～」を開催しました。本学の前島麻衣助教が講師となり、小学校3年生から高校1年生までの8名が参加しました。



乳幼児も楽しめる年齢問わず誰にでも扱いやすい打楽器の中から今回はカホンを身近な素材であるダンボールで製作しました。参加者の皆さん、飾りつけにこだわり、シール・フェルト・毛糸・立体的な模様を付けたり、マジックで描いたりして完成したカホンはどれもオリジナリティに溢れていて、世界に一つだけの楽器になりました。講座の最後に出来上がったカホンを叩いて鳴らし、「音」やリズムを楽しみました。音楽によって鳴らすと自然と体も動き、笑顔が溢れていました。参加された方には「いい音が出た」「楽しかった」と、喜んでいただけた講座となりました。

## 「子どもの健康と安全」にて救命救急を学習

2024年5月18日(土)2限、「子どもの健康と安全」の授業にて、相模原市消防局 相模原消防署緑が丘分署のご指導のもと「救命救急」について学びました。



当日は、全2年生が本学4号館アリーナにおいて心臓マッサージなどの救命措置の実技に取り組みました。

緊急出動に備えて2台の消防車にてお越しいただいた相模原消防署緑が丘分署の皆様、ご指導・ご協力をいただきありがとうございました。

## 就職説明会開催

2024年7月22日(月)と29日(月)4限「キャリアデザインⅡ(2年生)」の授業において、近隣の幼稚園協会様(相模原市・町田市・厚木市・横浜市)、保育園協会様(相模原市・町田市・八王子市・横浜市)をお招きして就職説明会を開催しました。



各協会の園長先生方からはそれぞれの協会の研修体制、処遇などを、現役の幼稚園教諭・保育士・保育教諭の先生方からは「現場でのやりがい・仕事内容・勤務形態」などをお話しいただきました。2年生は、就職活動を前にして熱心にメモを取りながら先生方の話を聞いていました。

協会の先生方、卒業生の皆様、当日は暑い中またご多忙中ご来校くださり、貴重なお話をありがとうございました。

2年生の皆さん、初めての就職活動、大学編入など進路の選択で不安なことも多いと思います。各協会や企業のフェアに参加、園や編入先大学の見学を通して自分にあった進路先を探していきましょう。進路支援センターでは皆さんを丁寧に支援して参ります。

## 和泉短期大学後援会 第17期総会を開催

2024年6月15日(土)14:00~16:00和泉短期大学1号館会議室において和泉短期大学後援会第17期総会が開催されました。雑賀えり子後援会会長、武子忍父母会会長、川井赴彦同窓会会長、横川剛毅学生部長による挨拶の後、2023年度事業報告および決算、2024年度事業計画および予算について審議、承認されました。



総会後には、和泉短期大学児童福祉学科 中安恒太 准教授による記念講演が行われました(テーマ:「子どもの声を聴く—子どもアドボカシーとは何か—」。特に困難な状況の中で生活する子どもたちが自身の意見を表明する権利を擁護すること、また、意見を表明できる環境を整えることの大切さについて学びました。

OG、OBや退職なさった教員など懐かしい皆様と楽しい時を共有することができました。

## 市民大学 2024年度前期講座開催

2024年7月5日(金)、12日(金)、19日(金)の3日間、市民大学を開講しました。



講座名は「一緒に歌って、遊んで、笑って、そしてちょっと科学的に!?楽しい時間を過ごしていきましょう!!」。講師は児童福祉学科の中山恭一助教が務めました。

第1回は「理論:身体活動(運動)が心とからだに及ぼす影響について」をサブタイトルとして、身体活動が脳の機能をより発揮しやすい環境を作ることなどを科学的根拠に基づいて学びました。第2回、3回は実際にからだを動かしてレクリエーション的な身体活動(運動)を通して、お互いにコミュニケーションを取りながらからだを操り、笑顔と笑い声、そして歌を交えながら、脳の機能にアプローチしていきました。

講座終了後には「一見軽い活動なのに、驚くほど汗をかき、頭を使った実感もある!」とても楽しく参加できた!もう何回か開講してもらいたい!等の嬉しい声をいただきました。

## 地域の高齢者の方との交流

専攻科では毎年、地域で生活している高齢者の方と交流する機会を設けています。



今年も、2024年5月7日(火)青葉2丁目のお住まいの方々と、和泉短大のリトミック室で地域の方々と囲んで、趣味のことや日常生活のこと、昔の遊びなど、学生がそれぞれ質問し交流を深めました。

最初は、お互い緊張していましたが、徐々に笑い声が聞かれたり、笑顔が多くみられるようになりました。また日常生活での工夫なども数多く聞くことができ、学生にとってはよい学びの場になり、高齢者の方々にとっては学生から元気をもらえたと喜んでいました。

## 避難・防災訓練を実施

2024年6月3日(月)、公益財団法人 相模原市まち・みどり公社、青葉二丁目自治会、相模原市消防局 相模原消防署緑が丘分署にご協力いただき、避難・防災訓練を実施しました。



学生は、教職員誘導のもと、相模原市広域避難所である淵野辺公園中央広場に避難しました。

避難先の淵野辺公園では、水消火器による消火訓練、起震車による地震体験、煙体験ハウスによる避難訓練の体験を行いました。

また、学内に設置されている災害対策用井戸から汲み上げた地下水を、造水機を通して飲料水にするデモンストレーションを行い、学生と教職員が試飲しました。本学では、保育や福祉の分野を目指す学生が多く、避難・防災訓練は重要な機会と捉えております。

## 2024年度 学校法人和泉短期大学「サマーフェア」開催

2024年7月10日(水)に「2024年度サマーフェア」(通算37回目)を開催しました。

## イベント内容

- ・100円ランチ…「ワクワク★ハワイアンプレート」「胸熱!!コリアンプレート」
  - ・キャンパスコンビニ 全商品20% OFF
  - ・250円以上購入者にはプレゼント
- 100円ランチは人気のため事前販売で完売し、キャンパスコンビニも多くの方が買い物を楽しんでおり大盛況でした。



今後も、学生向けイベントを実施してまいります。

# 2024年度 新任教職員紹介

ラーニングセンターウィール 基礎学力支援者

篠崎 千波



「和泉短期大学で働いてみませんか？」昨年末、思いもよらないお誘いを受けました。

「私が?!」けれど、お話を聞くうちに、不安以上にやってみたい!という思いが湧いてきました。保育士としての経験が、これから保育を目指そうとしている学生さんに活かせるのなら、こんな嬉しいことはありませんし、未来に貢献できる好機だと思えたのです。4月、先ず感じたのは、一人ひとりを大切に、学校全体で学生さんを育てる姿勢でした。新任職員の内にも同様、丁寧に教えていただき、本当にありがたく感じています。

まだまだ日々手探り状態ではありますが、皆さんの助けをお借りしながら、学生さんの支援に努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

広報渉外ユニット 須田 叔江



神さまの導きにより昨年9月より和泉の一員に加えられました。週3日の勤務ということもあり、3歩進んで2歩下がる。のような歩みではありますが、教職員の皆さま、特に同ユニットの仲間を支えられながら、和泉の顔であり入り口でもある、入試・広報の一端を担っております。和泉への導きは、私が大学4年の時、相模原教会で伊藤忠彦牧師より、武石先生や和泉の学生、現理事長と一緒に洗礼を受けた時から始まったいたのかも知れません。その後、獣医師、大学職員としての働き、そして牧師と結婚し教会に任せ、放デイ・児童発達支援の経験を経て和泉短期大学へと導かれました。

今、私は毎週何十、ある時は百部以上の入学案内を資料請求してくれた方々に発送しています。小さな業ですが、ここから和泉短期大学への導きが始まります。与えられた務めを感謝と祈りをもって取り組んでいきたいと思えます。

## 学校法人和泉短期大学 永年勤続表彰



須田拓理理事長／松浦浩樹教授／平塚豊事務局長／大下聖治副学長

2024年5月13日(月)和泉クラーク・ホールに於いて、創立記念礼拝後に、教職員の永年勤続表彰が行われました。学校法人和泉短期大学では、永年にわたり教学に力を尽くした教職員に対して表彰しています。

2024年度は、須田 拓理理事長から、地域連携推進センター長・図書館長 松浦浩樹教授(勤続15年)に、表彰楯、記念品、賞金が贈呈されました。

### 学校法人理事・監事・評議員改選

| 理事                         | 監事                          | 顧問                   | 就任                   | 退任                   | 評議員                  | 退任                   | 就任                        | 退任                   |
|----------------------------|-----------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------------|----------------------|
| 伊藤 忠彦<br>2024年6月12日付(任期満了) | 小山田小八郎<br>2024年5月31日付(任期満了) | 北島 緑<br>2024年6月1日付   | 北島 緑<br>2024年6月1日付   | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年5月31日付 | 松浦 浩樹<br>2024年5月31日付 | 宮坂 覺<br>2024年6月12日付(任期満了) | 武石 宣子<br>2024年6月22日付 |
| 野村 稔<br>2024年6月13日付        | 野村 稔<br>2024年6月13日付         | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 武石 宣子<br>2024年6月22日付      | 片山 知子<br>2024年6月22日付 |
| 松田 壯吾<br>2024年6月22日付       | 松田 壯吾<br>2024年6月22日付        | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 武石 宣子<br>2024年6月22日付      | 片山 知子<br>2024年6月22日付 |
| 宮坂 覺<br>2024年6月12日付(任期満了)  | 宮坂 覺<br>2024年6月12日付(任期満了)   | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 武石 宣子<br>2024年6月22日付      | 片山 知子<br>2024年6月22日付 |
| 武石 宣子<br>2024年6月22日付       | 武石 宣子<br>2024年6月22日付        | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 武石 宣子<br>2024年6月22日付      | 片山 知子<br>2024年6月22日付 |
| 片山 知子<br>2024年6月22日付       | 片山 知子<br>2024年6月22日付        | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 武石 宣子<br>2024年6月22日付      | 片山 知子<br>2024年6月22日付 |
| 宮坂 覺<br>2024年6月12日付(任期満了)  | 宮坂 覺<br>2024年6月12日付(任期満了)   | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 武石 宣子<br>2024年6月22日付      | 片山 知子<br>2024年6月22日付 |
| 武石 宣子<br>2024年6月22日付       | 武石 宣子<br>2024年6月22日付        | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 武石 宣子<br>2024年6月22日付      | 片山 知子<br>2024年6月22日付 |
| 片山 知子<br>2024年6月22日付       | 片山 知子<br>2024年6月22日付        | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 武石 宣子<br>2024年6月22日付      | 片山 知子<br>2024年6月22日付 |
| 宮坂 覺<br>2024年6月12日付(任期満了)  | 宮坂 覺<br>2024年6月12日付(任期満了)   | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 伊藤 忠彦<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 松浦 浩樹<br>2024年6月22日付 | 武石 宣子<br>2024年6月22日付      | 片山 知子<br>2024年6月22日付 |

### 人事

任用(2024年4月1日付)

- 佐藤 美紀 和泉短期大学専攻科ヒューマンケア専攻主任
- 武石 宣子 和泉短期大学特任教授
- 佐藤 美紀 和泉短期大学専攻科ヒューマンケア専攻准教授
- 佐藤 美紀 和泉短期大学専攻科ヒューマンケア専攻特任教授
- 佐久間志保子 和泉短期大学専攻科ヒューマンケア専攻特任教授

任用(2024年4月1日付)

- 井狩 芳子 特命教授
- 片山 知子 特命教授

任用(2024年7月1日付)

- 田中 孝一 学生支援ユニットリーダーを解き、庶務ユニット(法人担当)リーダー
- 池田 悦子 庶務ユニット
- 石川 佳代 学生支援ユニット

### 表彰

永年勤続(15年)

- 松浦 浩樹 教授

キリスト教保育連盟 永年勤続表彰

- 矢野 由佳子 准教授

キリスト教保育連盟 神奈川部会 永年勤続表彰

- 松浦 浩樹 教授
- 木村 文紀 学生支援ユニットリーダー
- 山中 仁 教育・学習支援ユニット(実習担当)主任

### 計報

故 金成 信彦 氏

大成 泰宏 教育・学習支援ユニットリーダー 御尊父

(2024年5月28日)

主による平安をお祈りいたします。

— 2023年度決算書概要説明 —

厳しさを増す運営状況

2024年5月24日(金)開催の理事会、評議員会において2023年度決算が承認されました。

2023年度決算の概要を説明いたします。学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を表す「資金収支計算書」、経営状態を表す「事業活動収支計算書」、財政の安全性を表す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成しています。

本法人の財務に関する公表は、「財務計算に関する書類」とともに、決算書の概要として、資金収支決算概要、活動区分資金収支決算概要、事業活動収支決算概要、貸借対照表決算概要を公表します。

**資金収支計算書**は、2023年度中の全ての資金の流れを表示した計算書です。資金収入合計は2,937,750千円、資金支出合計は3,069,535千円で、131,785千円支出超過です。

2023年度末支払資金である翌年度繰越支払資金(現金預金)は887,859千円で、前年度繰越支払資金(現金預金)1,019,644千円に比べて資金収支差額は、131,785千円減少しました。

現金預金減少の主な要因は学生数減少による学納金収入減少、受験者数減少と神奈川県離職者等委託訓練事業による委託生の増加により前受金収入が減少したことによります。

**事業活動収支計算書**は、当該年度の学校法人の収入及び支出の均衡状況を明らかに

し、学校法人が健全であるかを示す計算書です。3つの収支区分(①教育活動収支、②教育活動外収支、③特別収支)から構成されています。

經常収入(教育活動収入556,225千円と教育活動外収入21,633千円)577,858千円の74.3%を学納金に依存しているため、学生数の減少は、本法人の運営に甚大な影響を及ぼすことになります。事業活動収支差額(基本金組入前当年度収支差額)△95,141千円から第1号、第3号基本金3,736千円を基本金に組入れた後の当年度収支差額は、98,877千円支出超過でした。

教育活動支出の大半を占める人件費は、371,604千円で人件費率は、64.3%です。教育研究経費は185,913千円、管理経費は114,545千円でした。

3つの区分の合計額である**事業活動収入計**は577,858千円、**事業活動支出計**は、672,999千円でした。

**貸借対照表**は、2023年度末における当法人の資産の部、負債の部、純資産の部の3つの要素から構成され、学校法人の**財政状態**を明らかにする計算書です。有形固定資産の土地、建物、構築物、機器備品等については、取得価額から減価償却累計額等を控除した金額で表しています。

資産の部合計は、8,093,416千円です。退職給与引当金と前受金が大部分を占める負債の部合計は、298,612千円です。基本金と繰越収支差額で構成されている純資産の部合計は、7,794,945千円です。負債の部合計と純資産の部合計は、8,093,416千円です。

事務局長 平塚 豊

— 2024年度予算書概要説明 —

厳しい予算編成

2024年3月23日(土)評議員会、理事会において2024年度予算が承認されました。計算書類の予算書は、資金収支予算書と事業活動収支予算書で構成されます。

2024年度予算計算書類の概要を説明いたします。

**資金収支予算書**の資金収入合計は、646,609千円、資金支出合計は894,365千円です。資金収支差額は、247,756千円支出超過になる見込みです。これは、学生数減少(新入生が対前年比45名減)による学納金と補助金等の減収。その他の支出として現金預金から減価償却

特定資産等として71,860千円の預け替えを予定していることが大きな要因になっています。

**事業活動収支予算書**は、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の3つに区分され、区分ごとに収支差額を求めます。3つの区分の合計額である事業活動収入計は515,841千円です。基本金組入額合計は、55,096千円です。事業活動支出計は、予備費30,000千円を含め725,090千円です。2024年度事業活動収支差額は、209,249千円支出超過と、大変厳しい予算編成になっています。

学校法人和泉短期大学の財政見通しについて

少子化による18歳人口の減少、保育志望者の激減、私立学校がバナンス改革に伴う私立学校法の改正等、本学を取り巻く経営環境は年々急速に変化しています。

本学は、經常収入の74.3%を学納金に依存している現状において、入学者の定員確保、離学者の防止は喫緊の課題となっています。

2023年度は、1号館全熱交換機取替更新工事(200教室2台・212教室1台)、210教室プロジェクター取替更新工事、教室等の網戸設置、Wi-Fiアクセスポイントの増強を行いました。2024年度は、教育環境整備事業を継続し、教室プロジェクター取替更新、教卓周りの器材の統一などを行います。

相模原市に移転後47年が経過し、校舎等の計画的な修繕も行っています。2024年度は、受変電設備の取替更新、1・2号館の給水・揚水設備劣化診断、電気錠・入室管理ターミナルの取替更新、自動ドア開閉装置の交換等を行います。時代に合わせた改修や設備の充実には多額の経費を要しますが、経営の効率化とのバランスを保ち、一層の財政基盤の強化を図りながら取り組んで参ります。

「2024年度学校法人和泉短期大学の基本構想」は、次の6つの柱です。

1. 建学の精神の深化、
2. 将来構想の策定と実行、
3. 地域連携・リカレント教育の推進、
4. 新中期計画の策定、
5. 私立学校法改正への対応、コンプライアンスの強化、
6. ICT環境

の充実と施設整備、により事業展開して参ります。

2020年度から改正私立学校法の施行に伴い、「学校法人和泉短期大学第2次中期計画15のビジョン」(2020年度～2024年度)を策定し、毎年度、全教職員でPDCAサイクルによる振り返りを行い、理事会、評議員会に進捗状況を報告致しました。

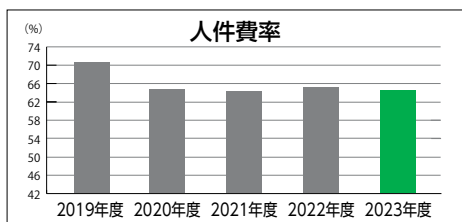
保育者・福祉従事者は社会において重要な役割を担っておりますが、保育者養成校の必要性が十分に認知されているとは言えません。少子化、4年制大学志向の中で、年々厳しさを増している経営状況下にあります。その中で、本学の教育環境を整備充実させていくために、2024年度も引き続き「教育環境充実資金募金」と本学独自の給付型奨学金「愛のいづみ基金奨学金」の募金活動を行います。

本学のさらなる発展を目指して「出るを制して、入るを計る」ことを原則とし、日頃から業務改善と経費削減に取り組み、効率的にそして慎重に予算を執行し資金の有効活用に努めます。

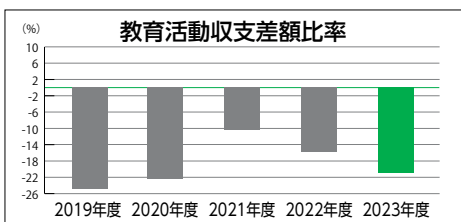
建学の精神である「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」、スクールモットーである「愛と奉仕」に基づいた本学の特色のある教育を展開し、学生にとって居心地の良いキャンパス、地元密着型、実力養成型の短期大学を目指して教職員、法人関係者一体となり努力して参ります。

事務局長 平塚 豊

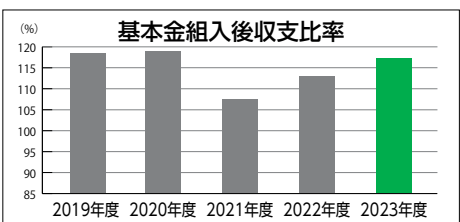
— (2019年度～2023年度) 財務比率推移(グラフ)と説明 —



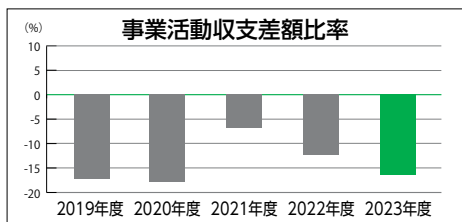
經常収入に対する人件費の割合。50%以内が目安です。人件費は、經常支出の中でも最大の比重を占める支出です。人件費が膨らみ収支状況が悪化しています。2023年度は若干緩和されました。



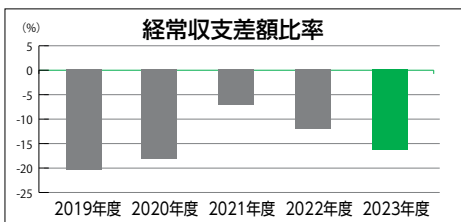
本業である教育活動の収支バランスを表す比率。学校本来の教育活動による収支差額を表わして、本業である教育活動収入の範囲内でどの程度余裕を持って運営できているかを把握することができます。



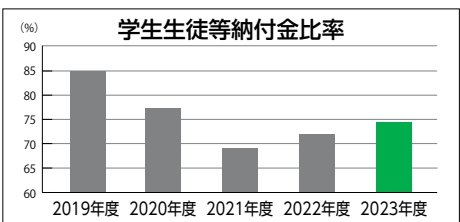
事業活動収入から基本金組入額を控除した額に対する事業活動支出が占める割合を示す比率。90%以上になると経営が困難になると言われています。臨時的な固定資産の取得等による基本金組入が著しく大きい年度において、一時的に上昇する場合があります。5年間、学納金減収により、100%を超えています。



旧帰属収支差額比率。学校法人の純利益を表わす、重要な財務比率です。比率がプラスで大きいほど自己資金が充実しています。プラス分から将来の施設設備の取替更新の余裕を示します。マイナスが何年も継続して行くと経営は窮乏し、資金が枯渇します。10%以上を経営安定の指標にしています。5年間はマイナスの状況です。



經常的な活動に関する収支バランスを表す比率。この比率は、臨時的な収支を考慮しない通常の事業活動による収支バランスを示す比率のため、支出超過の場合は財政が逼迫していることを表しています。支出超過分が、減価償却額の範囲内であれば、資金ショートを起こすことはありません。経営の健全性を表す指標です。



經常収入に占める学生生徒等納付金収入の割合です。經常収入に占める学生生徒等納付金への依存度が高いため、学生数の減少は、経営に甚大な影響を及ぼすため補助金、その他の収入の増額を語る必要性があります。2020年度から給付型奨学金の補助金増収により低下しています。

## — 資金収支計算書概要 —

2023年度決算・2024年度予算

### 収入の部

(単位：千円)

| 科目            | 2023年度決算額        | 2024年度予算額        |
|---------------|------------------|------------------|
| 学生生徒等納付金収入    | 428,966          | 371,290          |
| 手数料収入         | 4,784            | 6,116            |
| 寄付金収入         | 1,855            | 1,000            |
| 補助金収入         | 84,515           | 70,547           |
| 国庫補助金         | 84,444           | 70,498           |
| 地方公共団体補助金     | 71               | 49               |
| 付随事業・収益事業収入   | 26,654           | 33,272           |
| 受取利息・配当金収入    | 21,633           | 25,860           |
| 雑収入           | 8,863            | 7,756            |
| 前受金収入         | 100,040          | 126,975          |
| その他の収入        | 2,399,892        | 112,489          |
| 資金収支調整勘定      | △ 139,452        | △ 108,696        |
| <b>資金収入合計</b> | <b>2,937,750</b> | <b>646,609</b>   |
| 前年度繰越支払資金     | 1,019,644        | 887,859          |
| <b>収入の部合計</b> | <b>3,957,394</b> | <b>1,534,468</b> |

### 支出の部

(単位：千円)

| 科目              | 2023年度決算額        | 2024年度予算額        |
|-----------------|------------------|------------------|
| 人件費支出           | 357,132          | 373,392          |
| 教育研究経費支出        | 136,781          | 149,990          |
| 管理経費支出          | 107,130          | 103,941          |
| 施設関係支出          | 1,544            | 152,536          |
| 設備関係支出          | 1,216            | 5,423            |
| 資産運用支出          | 2,420,227        | 71,860           |
| その他の支出          | 45,815           | 7,223            |
| [予備費]           |                  | 30,000           |
| 資金支出調整勘定        | △ 310            | 0                |
| <b>資金支出の部合計</b> | <b>3,069,535</b> | <b>894,365</b>   |
| 翌年度繰越支払資金       | 887,859          | 640,103          |
| <b>支出の部合計</b>   | <b>3,957,394</b> | <b>1,534,468</b> |
| <b>資金収支差額</b>   | <b>△ 131,785</b> | <b>△ 247,756</b> |

## — 事業活動収支計算書概要 —

2023年度決算・2024年度予算

(単位：千円)

| 科目                             | 2023年度決算額        | 2024年度予算額        |
|--------------------------------|------------------|------------------|
| 学生生徒等納付金                       | 429,491          | 371,290          |
| 手数料                            | 4,784            | 6,116            |
| 寄付金収入                          | 1,918            | 1,000            |
| 経常費等補助金                        | 84,515           | 70,547           |
| 付随事業収入                         | 26,654           | 33,272           |
| 雑収入                            | 8,863            | 7,756            |
| <b>教育活動収入の部</b>                | <b>556,225</b>   | <b>489,981</b>   |
| 人件費                            | 371,604          | 386,720          |
| 専任教員給                          | 186,146          | 191,453          |
| 兼任教員給                          | 12,917           | 12,825           |
| 専任職員給                          | 145,865          | 153,152          |
| 兼任職員給                          | 10,514           | 11,162           |
| 役員報酬                           | 1,690            | 1,950            |
| 退職給与引当繰入額                      | 14,472           | 13,328           |
| 退職金                            | 0                | 2,850            |
| 教育研究経費                         | 185,913          | 197,102          |
| (減価償却額)                        | 49,069           | 47,112           |
| 管理経費                           | 114,545          | 111,268          |
| (減価償却額)                        | 7,377            | 7,327            |
| (広報宣伝費)                        | 18,253           | 19,461           |
| 徴収不能額等                         | 525              | 0                |
| 徴収不能額                          | 525              | 0                |
| <b>教育活動支出の部</b>                | <b>672,587</b>   | <b>695,090</b>   |
| <b>教育活動収支差額</b>                | <b>△ 116,362</b> | <b>△ 205,109</b> |
| 受取利息・配当金                       | 21,633           | 25,860           |
| <b>教育活動外収入の部</b>               | <b>21,633</b>    | <b>25,860</b>    |
| <b>教育活動外支出の部</b>               | <b>0</b>         | <b>0</b>         |
| <b>教育活動外収支差額</b>               | <b>21,633</b>    | <b>25,860</b>    |
| <b>経常収支差額</b>                  | <b>△ 94,729</b>  | <b>△ 179,249</b> |
| 資産売却差額                         | 0                | 0                |
| その他の特別収入                       | 0                | 0                |
| <b>特別収入の部</b>                  | <b>0</b>         | <b>0</b>         |
| 資産処分差額                         | 412              | 0                |
| その他の特別支出                       | 0                | 0                |
| <b>特別支出の部</b>                  | <b>412</b>       | <b>0</b>         |
| <b>特別収支差額</b>                  | <b>△ 412</b>     | <b>0</b>         |
| [予備費]                          |                  | 30,000           |
| 基本金組入前当年度収支差額                  | △ 95,141         | △ 209,249        |
| 基本金組入額合計                       | △ 3,736          | △ 55,096         |
| 当年度収支差額                        | △ 98,877         | △ 264,345        |
| 前年度繰越収支差額                      | 2,510,073        | 2,411,196        |
| 基本金取崩額                         | 0                | 0                |
| 翌年度繰越収支差額                      | 2,411,196        | 2,146,851        |
| 事業活動収入計                        | 577,858          | 515,841          |
| 事業活動支出計                        | 672,999          | 725,090          |
| <b>事業活動収支差額(基本金組入前当年度収支差額)</b> | <b>△ 95,141</b>  | <b>△ 209,249</b> |
| <b>事業活動収支差額比率(旧帰属収支差額比率)</b>   | <b>-16.5%</b>    | <b>-40.6%</b>    |

## — 2023年度 貸借対照表概要(2024年3月31日) —

(単位：千円)

| 資産の部          |                  |                  |                  |
|---------------|------------------|------------------|------------------|
| 科目            | 2023年度末          | 2022年度末          | 増減               |
| 固定資産          | 7,194,787        | 7,178,810        | 15,977           |
| 有形固定資産        | 2,640,485        | 2,694,523        | △ 54,038         |
| 土地            | 1,928,418        | 1,928,418        | 0                |
| 建物            | 611,294          | 658,740          | △ 47,446         |
| 構築物           | 2,610            | 3,545            | △ 935            |
| 教育研究用機器備品     | 10,330           | 15,489           | △ 5,159          |
| 管理用機器備品       | 1,876            | 2,671            | △ 795            |
| 図書            | 85,957           | 85,660           | 297              |
| 特定資産          | 3,183,712        | 3,113,635        | 70,077           |
| 第2号基本金引当特定資産  | 100,000          | 100,000          | 0                |
| 第3号基本金引当特定資産  | 342,712          | 340,735          | 1,977            |
| 減価償却引当特定資産    | 2,193,000        | 2,138,000        | 55,000           |
| 退職給与引当特定資産    | 188,000          | 174,900          | 13,100           |
| 施設拡充引当特定資産    | 360,000          | 360,000          | 0                |
| その他の固定資産      | 1,370,590        | 1,370,652        | △ 62             |
| 電話加入権         | 690              | 690              | 0                |
| 施設利用権         |                  | 62               | △ 62             |
| 金銭の信託         | 600,000          | 600,000          | 0                |
| 定期預金          | 769,900          | 769,900          | 0                |
| 積立保険金         | 0                | 0                | 0                |
| 流動資産          | 898,629          | 1,066,139        | △ 167,510        |
| 現金預金          | 887,859          | 1,019,644        | △ 131,785        |
| 未収入金          | 7,042            | 42,735           | △ 35,693         |
| 貯蔵品           | 3,591            | 3,629            | △ 38             |
| 仮払金           | 137              | 131              | 6                |
| <b>資産の部合計</b> | <b>8,093,416</b> | <b>8,244,949</b> | <b>△ 151,533</b> |

(単位：千円)

| 負債の部              |                  |                  |                  |
|-------------------|------------------|------------------|------------------|
| 科目                | 2023年度末          | 2022年度末          | 増減               |
| 固定負債              | 192,040          | 177,569          | 14,471           |
| 退職給与引当金           | 189,490          | 175,019          | 14,471           |
| 預り敷金              | 2,550            | 2,550            | 0                |
| 流動負債              | 106,572          | 177,435          | △ 70,863         |
| 未払金               | 310              | 38,010           | △ 37,700         |
| 前受金               | 100,040          | 132,410          | △ 32,370         |
| 預り金               | 6,222            | 7,015            | △ 793            |
| 仮受金               | 0                | 0                | 0                |
| <b>負債の部合計</b>     | <b>298,612</b>   | <b>355,004</b>   | <b>△ 56,392</b>  |
| 純資産の部             |                  |                  |                  |
| 科目                | 2023年度末          | 2022年度末          | 増減               |
| 基本金               | 5,383,608        | 5,379,872        | 3,736            |
| 第1号基本金            | 4,890,896        | 4,889,137        | 1,759            |
| 第2号基本金            | 100,000          | 100,000          | 0                |
| 第3号基本金            | 342,712          | 340,735          | 1,977            |
| 第4号基本金            | 50,000           | 50,000           | 0                |
| 繰越収支差額            | 2,411,196        | 2,510,073        | △ 98,877         |
| 翌年度繰越収支差額         | 2,411,196        | 2,510,073        | △ 98,877         |
| <b>純資産の部合計</b>    | <b>7,794,804</b> | <b>7,889,945</b> | <b>△ 95,141</b>  |
| <b>負債の部、純資産の部</b> | <b>8,093,416</b> | <b>8,244,949</b> | <b>△ 151,533</b> |

注記 1. 減価償却額の累計額の合計額 2,249,720千円  
 2. 翌会計年度以降の基本金への組入額 0千円

## 2024年度 和泉短期大学「愛のいずみ基金奨学金」(給付型奨学金)のお願い

学校法人和泉短期大学の原点であるララ物資の精神を引き継ぐために本学教職員・法人関係者の方々からの寄付を中心とした本学独自の給付型奨学金基金を2018年度より設立しました。

現在の社会・経済環境が甚だ厳しい状況にあります。本学独自の愛のいずみ奨学金基金の趣旨をご理解のうえ、和泉短期大学の学生の支援充実のため、一人でも多くの方々のご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

**募金目標金額** 3,000,000円  
**募金募集期間** 2024年6月～2025年3月(第7期)  
**募金金額** 1□5,000円  
**払込方法** 郵便振替口座  
**口座番号** 00280-6-105705  
**口座名** 学校法人 和泉短期大学  
**愛のいずみ基金奨学金**

寄付者一覧(敬称略) <2024年4月1日～2024年7月31日>

岡田 京子/荻原 英子/小山田小八郎/片山 知子/川井 俊幸/岸川 洋治/小久保光世/福田 重雄/笹野 和子/佐藤 守男/高橋 直子/武石 宣子/中野 陽子/並松 文葉/西田 伸江/平塚 豊/松井 敏枝/溝口 敏江/峯尾 恵/森 三樹/山本美貴子/匿名希望(13件) 以上34件 564,469円

### 所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

### 法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人  
**和泉短期大学** 庶務ユニット(法人担当)  
 042-754-1133

## 2024年度「教育環境充実資金募金」のお願い

学校法人和泉短期大学は1956年4月東京都世田谷区中町に「バット博士記念養成所」を開設し、同年5月「現任訓練講習会」を開催したことに始まります。1960年、その現任訓練機関が「玉川保母専門学校」となり、1965年に「和泉短期大学」が設立され、2024年5月に学校法人和泉短期大学は創立68年を迎えました。

学校法人和泉短期大学を卒業された卒業生は20,224名の方々の働きや努力と活躍により発展成長したものと深く感謝申し上げます。

和泉短期大学は、教育の充実を図り、学修環境整備、施設設備の維持整備を目的に2024年度も「教育環境充実資金募金」を行うことになりました。

皆様には出費多難な折とは存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**募金対象事業**

- 1号館 教室プロジェクター交換工事
- 1号館 教室教卓周辺機器の整備
- ICT環境の整備

寄付者一覧(敬称略) <2024年4月1日～2024年7月31日>

岡田 京子/岡田 康子/荻原 英子/奥脇 利彦/小山田小八郎/片山 知子/神庭 信一/岸川 洋治/阪口 久哉/笹野 和子/佐藤 守男/進藤 和彦/武石 宣子/中野 陽子/西田 伸江/平塚 豊/福田 重雄/松井 敏枝/峯尾 恵/森 三樹/森久保和子/山本美貴子/吉田 泰輔/吉村 めい/匿名希望(13件) 以上37件 594,000円

**募金目標金額** 10,000,000円  
**募金募集期間** 2024年6月1日～2025年3月31日(第13期)  
**募金金額** 1 個人 1□ 5,000円  
 2 法人 1□ 10,000円

### 所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

### 法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。

詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人  
**和泉短期大学** 庶務ユニット(法人担当)  
 042-754-1133

## 第55回いずみ祭 「笑顔輝け！和泉フェスティバル」

**開催日** 2024年10月26日(土) 10時～15時  
 和泉短期大学1号館 和泉クラーク・ホール

今年度もいずみ祭を開催します。お子さまからご高齢の方まで楽しめる企画となるよう学生・教職員で準備を進めています。皆様のご来場をお待ちしております。

### いずみ祭出店(展)予定

- ・学生保育出店(ゲームや手作り企画)
- ・サークル活動、自主企画発表
- ・和泉短大学びの展示
- ・図書紹介・読み聞かせ
- ・オレンジリボン活動、キリスト教活動展示
- ・近隣中学校吹奏楽部演奏

- ・青葉二丁目自治会・福祉施設出店
- ・相模原中央保健センター健康測定コーナー
- ・受験生相談コーナー
- ・同窓会「いずみのひろっぱ」
- ・食堂開放

### 同日開催 保証人会

- ・「実習・就職について」大学より説明

※駐車場のご用意はありません。スクールバス、公共交通機関、自転車をご利用ください。スクールバスの時間は10月中旬にホームページでお知らせします。

